

## 国際学部 国際学科

### 【教育目標】

国際学科では、教育研究上の目的を達成するため、以下の4点を教育目標とします。

1. 英語・中国語をはじめとする外国語および日本語の実践的な言語運用能力の育成
2. 世界のさまざまな社会や文化圏についての体系的な専門知識と幅広い教養をもとにした国際社会の今日的課題に対する洞察力、分析力の涵養
3. 異文化体験を通じた思考力、表現力、対人コミュニケーション能力、調査能力、および知的好奇心や共感性などの、社会的要請に対応できる感性の育成
4. 以上をもとにした、日本の地域社会における国際化と多文化共生の推進、国際交流・国際協力を通じた平和で豊かな国際社会の創造に貢献することを旨とする社会人としての意識の涵養

### 【ディプロマ・ポリシー】

国際学科では、平和で豊かな国際社会の創造に貢献することを旨とする社会人としての意識の涵養という教育目標に基づき、以下の知識・能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（国際学）の学位を授与します。

1. 言語に関する知識と運用能力  
日本語または特定の外国語に関する基本的知識と理解、およびこれを用いたコミュニケーション能力
2. 国際文化の理解  
世界諸地域の文化・歴史・社会や国際情勢に関する基本的知識と理解
3. 共生意識  
世界諸地域と自国、もしくは自分との関係を問い直し、共生意識を育むための知識と理解
4. 社会性  
他者との協調のもとに行動、実践し、協働作業に責任をもって取り組む能力
5. 課題解決能力  
自らが主体的に課題を立て、これまで獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用することによって、これを解決する能力

### 【カリキュラム・ポリシー】

国際学科では、ディプロマ・ポリシーで示した知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、課題解決能力などを身に付けるため、以下のような教育課程を編成・実施します。

1. 国際学科の教育課程は「総合教育科目」「専門教育科目」「実践教育科目」の3つの科目区分によって構成されます。
  - ・「総合教育科目」は、教養教育科目、言語文化科目からなります。学士課程に相応しい幅広い学問分野の素養を身につけるとともに、本学科での専門教育を念頭に置いた基礎学力を養います。
  - ・「専門教育科目」は、国際学部共通科目、専門演習科目、研究科目、卒業プロジェクトからなります。国際学部共通科目で、国際社会における言語文化、コミュニケーション、人間の心理と、それらに関わる今日的課題を学ぶ一方、専門演習科目・研究科目に英語分野、日本語分野、中国語分野、国際・地域研究分野を設け、各言語・地域の専門性に特化した知識と言語能力を修得します。また学士課程での学びの成果を総合的に活用するための卒業プロジェクトの学修を義務づけます。
  - ・「実践教育科目」では、アクティブ・ラーニングの手法を積極的に導入し、専攻分野への理解と関心を深めるとともに、課題の発見、調査、分析、解決などの能力を育成します。
2. 各科目の配当年次は、次のように定めます。
  - ・1年次は、「総合教育科目」中の大部分の科目、「専門教育科目」の一部科目、「実践教育科目」では「入門演習1・2」などの導入科目を履修し、大学での学修に必要な基礎学力を身につけます。
  - ・2年次は、「総合教育科目」では言語文化科目の一部科目、「専門教育科目」の多くの科目、「実践教育科目」では「リサーチ・リテラシ演習1・2」など多様なアクティブ・ラーニング系科目を履修し、専門教育への意識を高め、スタディ・スキルをさらに向上させることを目指します。

- ・3年次は、「専門教育科目」の多くの科目を中心に履修します。とくに「ゼミナール1・2」では、1・2年次を通じて修得してきた専攻分野に対する基礎的な理解を、演習形式の授業を通じて、より専門的な知見へと発展させます。
- ・4年次は、「ゼミナール3・4」など「専門教育科目」の一部科目を履修し、大学での学びの集大成を行います。

### 【アドミッション・ポリシー】

国際学科では、本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに共感、賛同する以下のような人材を受け入れます。入学者選抜にあたっては志願者の長所、可能性に着目することを旨とし、厳正に実施します。

(求める学生像)

#### 1. 基礎的・基本的な知識・技能

- (1) 高等学校までに学んだ教科・科目について、教科書レベルの基本的な知識・技能を身に付けている。
- (2) とくにさまざまな言語文化を学ぶうえでのベースとなる国語・英語、国際社会や異文化への理解を深めるために必要な地歴・公民については、教科内容の十分な理解と基礎学力を有する。

#### 2. 思考力・判断力・表現力等

- (1) 学んだ知識を活用して、課題を解決するために論理的に思考し、その結果を表現することができる。

#### 3. 主体的に学習に取り組む態度

- (1) 日本を含む世界の言語・文化・社会に強い興味を持ち、前向きに学ぼうという意欲を有する。
- (2) 言語・文化・国籍などの違いを互いに認め合い尊重する多文化共生社会の実現に強い動機を持つ。

(選抜方法)

区分 入試 名称 求める 学生像	総合型選抜			学校推薦型選抜			一般選抜		その他の選抜		編入学
	A O	ク ラ ブ	総合 専 門 学 科 出 身 者	指 定 校 推 薦	特 別 推 薦 (系 列 校)	公 募 推 薦	一 般 ※ 1	大 学 入 学 共 通 テ ラ ス 方 式 ※ 2	留 学 生 ※ 3	社 会 人 資 格 取 得 者 特 別	
1-(1)				◎	◎	◎	◎	◎		◎	
1-(2)				◎	◎	◎	◎	◎		◎	
2-(1)	○	○	◎				○	○	◎		◎
3-(1)	◎	◎	○	○	○	○			○	○	○
3-(2)	◎	◎	○	○	○	○			○	○	○

※1 他に資格取得者一般入試があります。

※2 他に帰国生徒、卒業生子女特別入試があります。

※3 他に留学生指定校、日本留学試験利用、日本語能力試験利用入試があります。

改正 2024年 5月 28日